

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所では、下記のテーマ、日程で古代官衙・集落研究会の第18回研究集会をおこないます。関係各位のご参加をお待ちしております。また、お近くの関係者の方々にもお知らせいただけましたら幸いです。

テーマ：「宮都・官衙と土器（官衙・集落と土器1）」

古代の官衙・集落遺跡からは土器が普遍的に出土する。この中で、墨書土器や硯は官衙遺跡を特徴づける土器・土製品として、本研究会でもテーマとして取り組んできた。しかし、これらはあくまで出土が稀な特殊遺物であり、遺跡から出土する大多数の土器は遺跡の年代決定に使用されることはあっても、出土する遺跡の性格と土器との関連性については、十分な議論がおこなわれていない。

古代の土器については「律令的土器様式」との用語が提唱され、宮都や官衙から出土する土器が律令国家の成立・展開と関連することが提起されている。また、山中敏史によると官衙遺跡から出土する土器類は杯・皿の食器類が圧倒的に多く、煮炊き用や貯蔵用の甕・壺が少ないことが特徴であり、これは饗宴や給食の存在を示唆するとされる。

こうした点をふまえ、各遺跡から出土する土器のあり方から、官衙的な要素を抽出できるのか、官衙遺跡から出土する土器はどのような特徴があり、どのような意味を持つのかについて歴史的な背景もふまえつつ考察してみたい。

日程 2014年12月12日（金）・13日（土）

12月12日（金）

13:00～13:05	開会挨拶	
13:05～13:15	趣旨説明	小田裕樹（奈良文化財研究所）
13:15～14:15	都と地方の土器	高橋照彦（大阪大学）
14:15～15:15	宮都の土器	森川 実（奈良文化財研究所）
15:15～15:30	〈休憩〉	
15:30～16:30	東北の官衙と土器	佐藤敏幸（東松島市教育委員会）
16:30～17:30	東国の官衙と土器	依田亮一（国分寺市教育委員会）

12月13日（土）

9:30～10:30	九州の官衙と土器	中島恒次郎（太宰府市役所）
10:30～11:30	中・四国の官衙と土器	岡田裕之（山口県埋蔵文化財センター）
11:30～12:10	文献からみた官衙と土器	三舟隆之（東京医療保健大学）
12:10～13:10	〈昼食・休憩〉	
13:10～15:40	討論	司会：玉田芳英（奈良文化財研究所）
15:40～	閉会挨拶	

※報告題目は仮題ですので、変更する場合があります。

場所 奈良文化財研究所 平城宮跡資料館 講堂（地図参照）

情報交換会 日時：12月12日（金）18:00～20:00 参加費：4,000円程度

※ 情報交換会の参加は任意です。

※ 研究会会場での情報交換会を予定しております。

参加申込 地方公共団体職員・大学教員等の研究者を対象とします。

- ・ 参加希望者は、郵便番号・住所・氏名・所属・電話・FAX 番号・E メールアドレス、13日の昼食弁当（1,000 円）の注文の有無、情報交換会参加の有無を明記のうえ、事務局にE メールまたは郵送・FAXにてお申し込み下さい。**11月21日（金）**までにお申し込みいただきますようお願いします。
- ・ なお、参加申込書にご記入いただきました内容につきましては、受付・名札作成等研究集会の事務作業以外には使用いたしません。
- ・ 埋蔵文化財センター研修棟宿泊施設には宿泊できません。宿泊の手配は各自でお願いします。

申込・問い合わせ先

古代官衙・集落研究会事務局

馬場基・青木敬・小田裕樹・海野聡・大澤正吾

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

〒630-8577 奈良市佐紀町 247-1

FAX：0742-30-6830

E メール：kanga@nabunken.go.jp

（研究集会会場）

奈良文化財研究所 平城宮跡資料館 講堂

